

株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2013年度第1四半期(2013年4月～6月)のブラザーグループの連結業績は、売上が前年同期比で増収となったものの、営業利益・経常利益・四半期純利益は、為替の影響や法人税等の増加などにより、いずれも前年同期比で減益となりました。

2013年度通期の業績予想につきましては、ブラザーグループを取り巻く事業環境の変化を踏まえ、ユーロの為替想定レートを変更したことなどにより、売上高は5,850億円、営業利益は350億円と、前回の予想を上回る見込みです。

中期戦略「CS B2015」の達成に向け、引き続きグループ一丸となって邁進してまいりますので、何卒ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



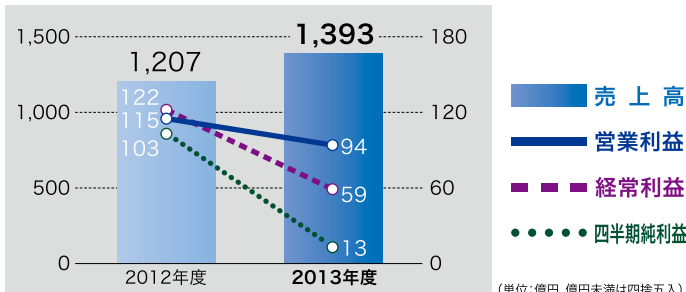
よりよい地球環境を、
あなたとともに。
www.brotherearth.com

代表取締役社長

小池利和



2013年度 第1四半期の業績概況



※2013年度第1四半期の平均為替レート：米ドル=98円、ユーロ=127円
2012年度第1四半期の平均為替レート：米ドル=80円、ユーロ=103円

便
郵
は
が
き

売上高 産業機器が減収となったものの、為替のプラス影響や株式会社ニッセイの新規連結などにより増収

利益 販売費及び一般管理費などの費用増加に加え、為替差損の計上や税効果会計の影響に伴う法人税等の増加により減益

2013年度 通期の業績予想について

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2013年度予想 '13 8/6発表 (対前年増減率)	5,850 (+13.4%)	350 (+17.5%)	320 (+38.3%)	185 (+3.8%)
2013年度予想 '13 5/9発表	5,700	320	320	185
2012年度実績	5,161	298	231	178

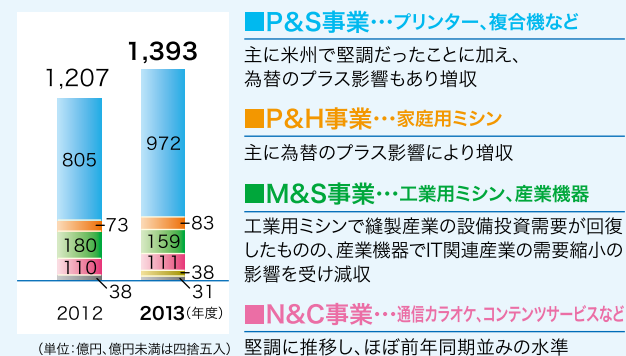
売上高 為替の想定レート変更によるプラス影響と通信・プリンティング機器の米州の見直し引き上げにより、前回予想を上回る見込み

利益 営業利益は、為替の想定レート変更によるプラス影響により、前回予想を上回ると見込むものの、経常利益・当期純利益については、すでに一定の為替予約を行っており、為替の想定レート変更による影響は軽微となる見通しのため、前回予想から変更なし

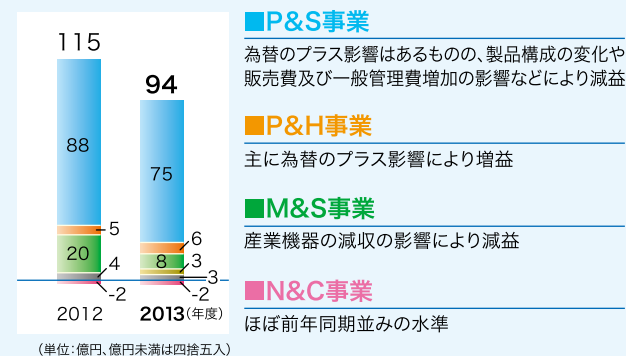
予想部分の
為替レート | 1ユーロ=115円から120円へ変更、1米ドル=90円で変更なし

この株主通信に記載されている事項には、将来についての予想に関する記述が含まれています。実際の業

売上高 事業セグメント別



営業利益 事業セグメント別



■ プリンティング・アンド・ソリューションズ(P&S)事業 ■ ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業
■ パーソナル・アンド・ホーム(P&H)事業 ■ 工業用部品事業
■ マシンリー・アンド・ソリューション(M&S)事業 ■ その他事業

※工業用部品事業(減速機、歯車など)は、当第1四半期より、事業セグメントとして開示しています。

績はこれらの見通しと異なる結果がありうることをご承知おきください。

株主通信 第122期 第1四半期のお知らせ

※本通信は2013年3月末時点での株主の皆さまにお送りしておりますことをご了承ください。

ブラザー工業株式会社

(証券コード:6448)

【株主名簿管理人】三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話/0120-232-711 (通話料無料)

①開く

ここからゆっくりはがしてご覧ください。
万一ぬれた場合は十分に乾かしてからはがしてください。

第121回定時株主総会を開催しました

2013年6月25日(火)に「第121回定時株主総会」を名古屋東急ホテル(愛知県名古屋市)にて開催し、488名の株主の皆さまに出席いただきました。多くの株主の皆さまが出席されました総会では、2012年度のブラザーグループの業績や中期戦略、東日本大震災復興支援の取り組みなどについてご説明しました。また、議案はいずれも原案どおり承認可決されました。

総会終了後には、株主の皆さまが当社経営陣と直接対話する「株主懇談会」を開催。会場内に設けた展示ブースでは、ブラザーグループの役員や従業員が、株主の皆さまと交流しながら製品やサービスをご紹介しました。



多くの株主の皆さまが出席されました



懇談会で歓談する社長の小池

■総会決議の概要

第1号議案 取締役7名選任の件

原案どおり取締役の小池利和、石川茂樹、平野幸久、西條温、服部重彦、深谷紘一の6氏が再選され、長谷川友之氏が新たに選任されました。

第2号議案 監査役2名選任の件

原案どおり監査役に成田正人氏が再選され、高次正樹氏が新たに選任されました。

詳細は以下のWebページをご覧ください。

<http://www.brother.co.jp/pub/investor/meeting/pdf/2013/ketsugi.pdf>

ブラザーの 環境社会 貢献

ブラザーグループでは持続的発展が可能な社会の構築に向け、世界各地でさまざまな活動に取り組んでいます。その中から、今回は中国での活動をご紹介します。

兄弟(中国)商業有限公司(以下、BCN)では、2012年より、公益財団法人「オイスカ」と協同し、内モンゴルの砂漠化防止に取り組んでいます。

2013年5月には、上海・北京在住のBCNの董事長や従業員が内モンゴル自治区を訪れ、乾燥地帯であるアラシヤンの2地区で、「オイスカ」のスタッフや地元の中学生らと協力して、約500本の苗木を植樹しました。アラシヤンは、年平均降水量が150~170mmという少雨地帯で土が硬く石も多いため、スコップでの穴掘りにも苦勞しながら作業を進めました。



乾燥に強いソウソウの苗を植樹

また、BCNの従業員は、今回の植樹活動にあわせて、共に活動を行った中学生の学校を訪問。歓迎の歌やダンス、馬頭琴の演奏などを披露されるなど、現地の文化に触れながら親睦を深めました。



アラシヤンの砂漠